

国立教育政策研究所委嘱

平成 24・25 年度 魅力ある学校づくり調査研究事業

「えがお・ふれあい・まなびあい」を求めて

～不登校未然防止のための 1 年目の取組～

湯沢市立湯沢南中学校 教諭 沼 倉 信 之
湯沢市立湯沢西小学校 教諭 榎 本 達
湯沢市立三関小学校 教諭 篠 瀬 均

1 本事業について

現在、学習や人間関係の面で不安を抱えるなどの理由から、小学校および中学校における不登校の児童生徒数は、全国で 12 万人を超え、不登校児童生徒の将来の社会的自立が大きな課題となっている。そこで、文部科学省国立教育政策研究所は、不登校の未然防止を推進するため、平成 22 年度から、都道府県教育委員会と連携した「魅力ある学校づくり調査研究事業」を実施してきた。平成 24 年度からの 2 年間は、第Ⅱ期の取組として、秋田県教育委員会及び湯沢市教育委員会が委嘱を受け、湯沢南中学校を拠点校に、湯沢西小学校、三関小学校の 2 校と連携しながら取り組んでいる。

本事業では、児童生徒が新たに不登校にならないように、保護者、地域、関係機関の協力を得ながら、3つの学校が連携して、児童生徒の実態をとらえ、「心の居場所」となる学校、「絆づくりの場」となる学校になるよう、児童生徒にとって「魅力ある学校」づくりを目指している。

2 湯沢南中学校区の課題

自立心の未熟さから周囲に依存する傾向が見られる児童生徒や、自己有用感や自尊感情の乏しさから集団の中で居場所を見付けることができない児童生徒がおり、学習や人間関係の面で不安を抱えている。

3 湯沢南中学校区の目標

明確な見通しと確かな振り返りを基にした達成感のある学習や、児童生徒が相互に触れ合う活動を通じて、自立心や自己有用感、自尊感情を醸成し、周囲と協力し合いながら互いに楽しく学校生活を営むことができる児童生徒を育成する。

4 「魅力ある学校づくり」の主な取組の具体

(1) 小・中共通実践の柱Ⅰー達成感のある学習

① 明確な見通しと確かな振り返りを基にした「わかる授業」への授業改善を図る。

【重点1：課題（めあて）とまとめの明確化】

(i) 『明確な見通し』 → 何を目標として学習すればよいのかがわかる良質な「課題」や「めあて」の提示により、軸がぶれない授業構成になる。

(ii) 『確かな振り返り』 → 目指した課題（めあて）を達成できているかがわかる「まとめ」を工夫することで、教師と生徒がともに授業の評価ができ、次の授業へのつながりを明確にすることができる。



- ① 「問題」から「学習課題」を見出す
- ② 「Let's型」から「How to型」の課題
- ③ 振り返りやすいまとめ

- ② 自分の考えを表現したり、他の意見を聞くことで考えを深めたりすることができる児童生徒を目指し、「話し合い」や「学び合い」の充実を図る。 [重点2：考え・深め合う]
- (i) 『考えを表現』 → 児童生徒の実態に即した「考えの持ち方・表現の仕方」の工夫
- (ii) 『考えを深め合う』 → 他の意見を聞いて理解し、自分の考えと比較し練り合わせるための工夫

【実践例：三関小学校6年音楽】

〈めあて〉 歌詞や旋律の動きから、表現のしかたを考えて合唱しよう

活動 1 グループでの話し合い どの部分を
2 全体での話し合い どのように表現したいか

全員で取り組む表現の仕方
① 音の伸ばし方と歌詞との関わり方
② 最後のフレーズをゆっくりと

↑
児童の考えを引き出す発問
← 児童が「話し合い」を通し、導き出した表現の仕方



- ③ 小・中の教職員が互いに授業を参観し合い研修する場を設ける。
7/ 6(金) … 湯沢南中学校指定校計画訪問1

〈参観授業〉 全学級の授業提示
…小学校教員7名参観

〈協議の視点〉
1 「学び合い」の場面に、全生徒が向かっているか。
2 生徒の良い点を、教師が目に見える形で表しているか。

〈協議会への参加〉 … 小学校教員2名参加

- 11/ 1(木) … 三関小学校指定校計画訪問
11/ 6(火) … 湯沢南中学校指定校計画訪問2
11/15(木) … 湯沢南中ブロック研修会(三関小学校)
12/ 4(火) … 湯沢西小学校指定校計画訪問



- ④ 拠点校の各教科担当者が、連携校の授業にTTなどで参加し、教科の専門性を生かした授業を行いながら、授業力を相互に高め合う。 [拠点校教員の連携校授業への派遣]

《小学校外国語活動》

《小学校音楽》

《小学校理科》



(2) 小・中共通実践の柱Ⅱ－互いに認め合う姿

- ① 常時活動の中に「児童生徒がほめ合う」「児童生徒が認め合う」「教師がほめる」などの場面を意図的に作り、自己有用感や自尊感情の醸成を図る。

[重点3：児童生徒が互いに認め合う場面づくり]

- (i) 教師の励まして、子どもたちは元気になる。
(ii) 教師が子どものよさをほめると、自信が生まれる。
(iii) 授業や学級・学年活動、当番活動、係活動、委員会活動などを通して、『やさしく話そう、あたたかく聞こう』を合言葉に互いに認め合える児童生徒の姿を求める。



- ② 既存の行事等を拠点校と連携校の児童生徒が相互に触れ合う機会として見直し、計画的・継続的に実施することで、互いを知り、協働して成し遂げることの喜びや楽しさ、責任を果たした満足感などを実感させる。

[南中合唱祭]

連携校6年生を招待し、共通の合唱曲を一緒に練習・披露することによって、協働して成し遂げることの喜びや楽しさ、責任を果たす満足感などを実感させる。

- (i) ポスターの作成と各小学校への掲示
- (ii) 両小学校の6年生による合同合唱及び鑑賞
- (iii) 拠点校音楽科教員の連携校への派遣



[小学生体験入学]

2学期中に小学生体験入学(対象小6)を実施し、拠点校生徒と相互に触れ合い、早い時期から中学校生活への理解を図り、意欲を高める機会とする。

- (i) スタートダッシュアンケートによる事前調査
- (ii) アンケートをもとにした中学校生活への不安の解消
- (iii) 体験授業の実施



(3) 小・中共通実践—家庭・地域との連携

- ① 地域で育てたい児童生徒の姿や現在抱える課題などを共通認識し、9年間を見通した指導内容を生活習慣表や学習習慣表にまとめ、変容を図る。[生活習慣表・学習習慣表の見直し]

高松市立小・中学校（東の小学校・三好小学校・東の南中学校）

み ほみの子どもの健やかな心と体

な かまで取組む生きる力の基礎づくり

み カアッパで明るい学校

身に付けたい生活習慣

生活・学習	生活・学習	生活・学習	生活・学習
毎朝入浴を心がけ、清潔に保ちましょう。	歯のケアを毎日行い、歯垢を落としましょう。	毎朝髪を洗って清潔に保ち、髪の手入れをしましょう。	毎日歯磨きを心がけ、歯垢を落としましょう。
1日1回、手を洗って清潔に保ちましょう。	毎日歯磨きを心がけ、歯垢を落としましょう。	毎朝髪を洗って清潔に保ち、髪の手入れをしましょう。	毎日歯磨きを心がけ、歯垢を落としましょう。
毎朝入浴を心がけ、清潔に保ちましょう。	歯のケアを毎日行い、歯垢を落としましょう。	毎朝髪を洗って清潔に保ち、髪の手入れをしましょう。	毎日歯磨きを心がけ、歯垢を落としましょう。
毎朝入浴を心がけ、清潔に保ちましょう。	歯のケアを毎日行い、歯垢を落としましょう。	毎朝髪を洗って清潔に保ち、髪の手入れをしましょう。	毎日歯磨きを心がけ、歯垢を落としましょう。

生活・学習	生活・学習	生活・学習	生活・学習
毎朝入浴を心がけ、清潔に保ちましょう。	歯のケアを毎日行い、歯垢を落としましょう。	毎朝髪を洗って清潔に保ち、髪の手入れをしましょう。	毎日歯磨きを心がけ、歯垢を落としましょう。
毎朝入浴を心がけ、清潔に保ちましょう。	歯のケアを毎日行い、歯垢を落としましょう。	毎朝髪を洗って清潔に保ち、髪の手入れをしましょう。	毎日歯磨きを心がけ、歯垢を落としましょう。
毎朝入浴を心がけ、清潔に保ちましょう。	歯のケアを毎日行い、歯垢を落としましょう。	毎朝髪を洗って清潔に保ち、髪の手入れをしましょう。	毎日歯磨きを心がけ、歯垢を落としましょう。
毎朝入浴を心がけ、清潔に保ちましょう。	歯のケアを毎日行い、歯垢を落としましょう。	毎朝髪を洗って清潔に保ち、髪の手入れをしましょう。	毎日歯磨きを心がけ、歯垢を落としましょう。

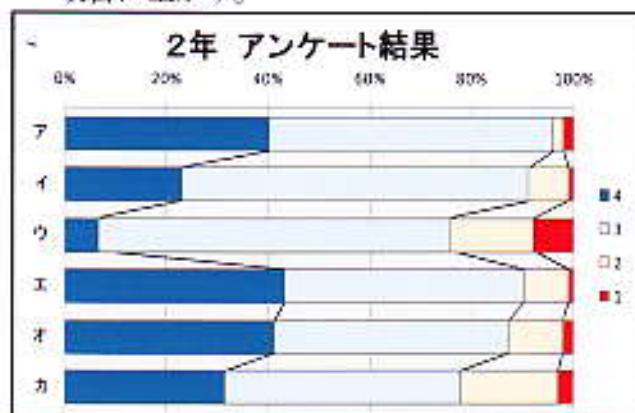
※ 子どもの成長発達を考慮して実施し、学年・年度で変えていくことが必要です。子どもの個性に応じた、ご家庭・ご学校で実践してください。

- ② 行事等を活用した効果的な広報活動の在り方について協議を深め、家庭への啓発活動の充実を図る。

[広報の効果的活用] [リーフレットの作成と配布]
※ 配布資料参照

(4) 拠点校（湯沢南中学校）の実践

- ① 授業における達成感を把握することを中心として、児童生徒による授業評価を実施し、授業改善に生かす。 [生徒による授業評価とPDCA]



【授業評価項目】

- ア ゴールが黒板に書かれていたので、どの授業もめあてをはっきりと持つことができた。
- イ 授業の最後に振り返りの時間があったので学んだ内容やできるようになったことを確認できた。
- ウ 学習規律10ヶ条1学期用を自分は全部守る事ができた。
- エ 授業の話し合いの中で自分の意見を言ったり、友達のことを聞いて考えを深められたりした。
- オ 自分の学級は意見を言いやすい学級だと思う。
- カ 自分の学級は、みんながよりよい意見を出そうとしていると思う。

1学期の生徒による授業評価において、授業での意見発表時に、「意見を聞く側から、からかいや嘲笑、陰口などがあり発表しにくい。」などのコメントが比較的多く見られた。

意見を聞く際、からかいや嘲笑、陰口などが出ないことはもちろん、うなずく場面が自然に出るなど相手を尊重するような「聞き方」を育てていくことが急務の課題として浮き上がってきた。そこで、2学期に対策を講じ、からかいや嘲笑、陰口などが少なくなってきた。

- ② 生徒が主体となる学校行事を通し、リーダーとしての自覚、南中生としての自覚、所属感や連帯感をもたせ、自己有用感の獲得や愛校心の醸成を目指す。

[南中体育祭]

縦割りチームの活動を通し、3年生のリーダー性を発揮させるとともに、互いのよさを認め合い協力して、よりよい学校を築いていこうとする南中生としての自覚を促す。

- 5/8(火) 体育祭集会
- 5/9(水)~29(火) 体育祭活動 (ジョイントシップ)
- 5/30(水) 体育祭 南中体育祭『「走破」～走り切れ！今始まる新たな道を～』



[南中合唱祭]

学級・学年のリーダーを中心に、全員が協力して理想とする学級集団を目指し、学級・学年への所属感や連帯感を高める。

- (i) 「合唱祭ふれあい期間」の異学年交流
- (ii) 学年中間発表会の実施
- (iii) 合唱祭実行委員会による生徒主体の運営



[南中祭]

自己の可能性を発揮できるよう自分にできることを考え、正しく判断し、責任をもって行動しながら、南中の伝統と誇りを大切にしようとする愛校心を醸成する。

※ 学校祭においても合唱祭と同様の取組を行った。

- ③ 自己の生き方を見つめ、夢を育み、未来を切り拓いていこうとする力を身に付けさせながら、自己有用感の醸成を目指す。 [南風タイム講演会]

《平成24年度 第1回：演題『中学時代をどう生きるか?』》

- ◆ 自分を見つめ直し、自信をもって自分を高めようとする「自分探し」をしよう。
- ◆ 自分のよさを見つけたり自分の存在価値を高めたりしよう。

《平成24年度 第2回：演題『ことばは生きている』》

- ◆ 学級や学年などの集団の中で、どのようにしたらよりよい人間関係をつくることができるか考えよう。



(5) 連携校（湯沢西小学校・三関小学校）の実践

- ① 異学年集団による活動を中心にしながら、一人一人が自己有用感をもてるような児童会活動を工夫する。(共通)

〔縦割り班活動〕

《共通》縦割り清掃(全学年)

《湯沢西小》七夕集会、スタンプラリー、ほか(全学年)

《三関小学校》大綱活動(縦割り・異学年交流)(全学年)



- ② 規模の異なる小学校の児童が、中学入学後に、互いにストレスを感じないように合同の制作活動や授業の場を設け、スムーズに中学校生活を送れるようにする。

〔小・小連携：絵灯ろう制作活動、理科合同授業〕

《絵灯ろう制作活動》

湯沢西小・三関小の6年生全員が集まり、以下の日程で湯沢市の夏祭り「七夕絵灯ろうまつり」に市内に飾られる絵灯ろうの制作体験をした。(全10時間)

《理科合同授業》

湯沢西小学校6年1組の児童と三関小学校6年の児童が、湯沢西小学校を会場に、理科の合同授業を行った。【単元：水溶液の性質とはたらき】(全10時間)



【絵灯ろう制作活動】



【理科合同授業】



5 学校生活意識調査による取組の評価

(1) 学校生活意識調査項目

国立教育政策研究所指定共通項目	共通項目と関連を図った調査項目
ア 学校が楽しい	オ 学校が笑顔であふれている ス 活動するとき、ひとまかせにしてしまう ソ 自分はまわりに認められていると思う ツ 何事にも自分の力で取り組もうとしている テ 学習や活動する集団の中で自分は大切な存在であると思う ト 自分にはよいところがあると思う ナ 現在、自分には将来への夢がある ニ 夢の実現に向かって努力している
イ みんなで何かをするのは楽しい	シ 話し合いや学び合いのある授業は楽しい セ 学級や学年で協力し合いながら活動することは楽しい タ 上級生や下級生と協力し合いながら活動することは楽しい チ 中学生や小学生と協力し合いながら活動することは楽しい
ウ 授業に主体的に取り組んでいる	カ 予習や復習をして授業に向かっている ケ 学校で学習したことをその日のうちに復習している コ 家庭学習には目標をもち計画的に取り組んでいる
エ 授業がよくわかる	キ 授業には「めあて」をもって取り組んでいる ク 授業で「わかる喜び」を感じている サ 家庭学習に満足感を感じている

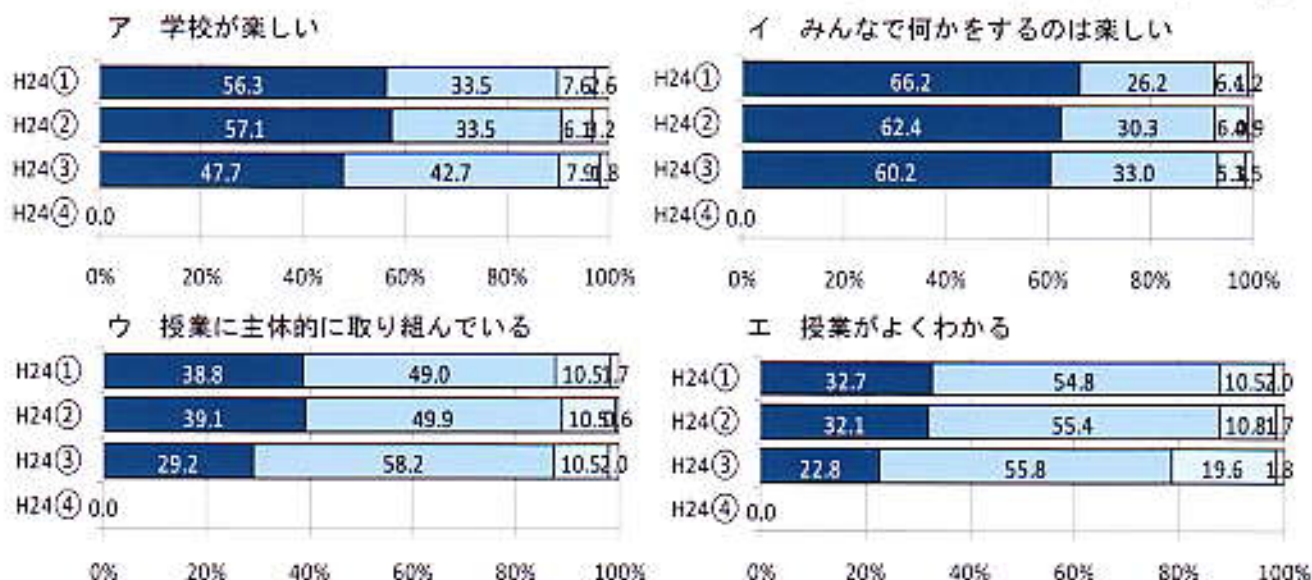
1…当てはまる 2…どちらかと言えば当てはまる 3…どちらかといえば当てはまらない
4…当てはまらない として調査する。

(2) 学校生活意識調査の結果

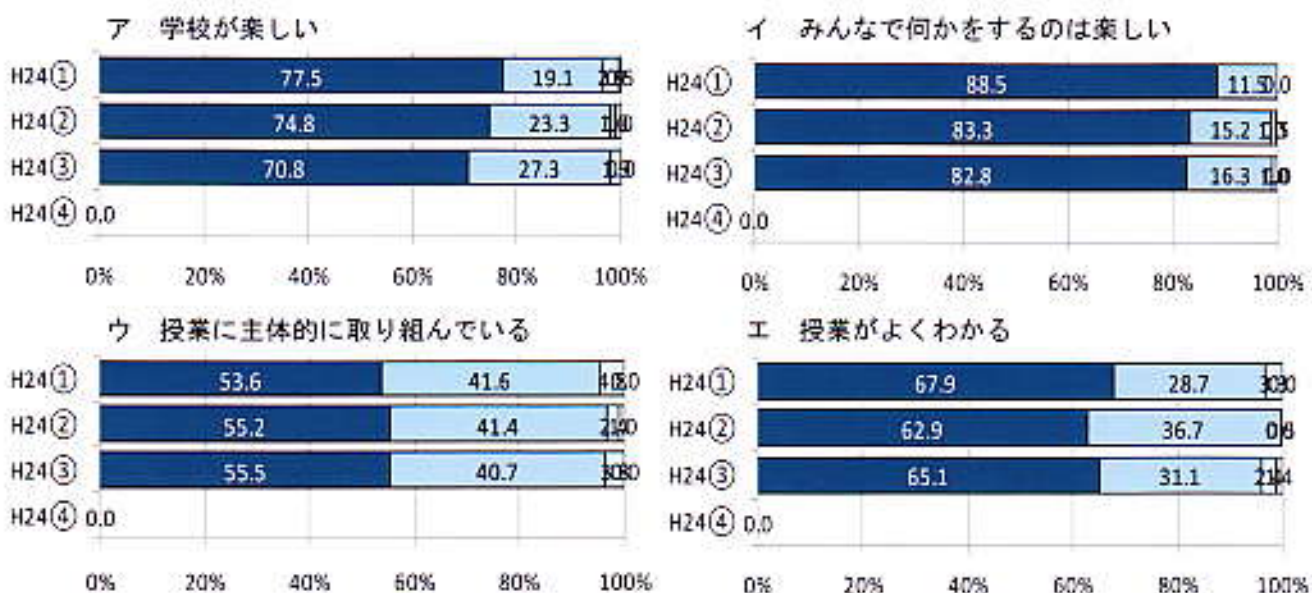
① 湯沢南中学校全体

■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる
□どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

H24①…5月 H24②…7月 H24③…12月



② 湯沢南中学校区小学校高学年全体



(3) 成果・課題とその要因

① 不登校の未然防止の取組の成果とその要因

平成24年度の新規不登校生徒数…1名（前年度比－6名）

新たな不登校の出現数が大きく減少した。連携2校は不登校児童数が0である。意識調査項目「ア」「イ」「ウ」「エ」において「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の良好な回答が高い値を維持していることが理由として考えられる。

② 湯沢南中学校区全体の各調査項目に関する成果・課題とその要因

各学校の各学年部（小5～中3）において、学校生活意識調査の学年ごとの結果を分析し、成果・課題とその要因について取りまとめ、表にまとめた。

成 果	成果の要因	課 題	課題の要因
中3の【ア】【イ】【ウ】の上昇 中2の【イ】の上昇 小学校の【ア】【イ】【ウ】【エ】の高い値の維持	・リーダーとしての活躍と自信 ・進路意識の高揚と夢の実現への努力 ・学級や学年で協力し合い ・友人関係の良好さ ・授業の雰囲気	中3の【エ】の低下 中2の【ア】【ウ】【エ】の低下 中1の【ア】【イ】【ウ】【エ】の低下 小5の【イ】【エ】の低下	・学ぶことの意義を考える機会の不足や学習規律 ・学習内容の難易度の上昇と活用力への対応力不足 ・重点1や2の不十分さ ・既習内容の定着不足 ・友達関係の悪化 ・学級の雰囲気や規律 ・リーダーとしての負担 ・学習と部活動（スポ少）の両立

(4) 修正・改善を図りたいこと

- ・中1後半から中2に低下する数値改善の方策を、小・中連携や小・小連携を通して行えるよう工夫する。
- ・「ほめる」「認める」「注意を促す」などの場面を明確にした生活規律・学習規律の指導の徹底と集団意識の向上
- ・生徒主体の取組を常時活動の中で実施（特に、学年集会、学活、委員会（児童会）活動、係活動、リーダーの育成など）
- ・早めの計画策定と共通理解、見通し ・道徳や学活等での話し合う語り合う場面づくり
- ・「学ぶことの意義」を考えさせる場面をより多く設定 ・アンケートの文言の検討
- ・学級づくりや学年づくりに焦点化 ・友人関係トラブルの早期発見・早期解決
- ・明確な課題とそれに対応したまとめ方、児童生徒自身の課題やまとめとなるような手立ての工夫
- ・予習や復習など定着を図る学習への取り組み方についての指導
- ・話し合いや学び合いの中の「認め合い」の必要性の浸透と個の考えを確実に表現させる手立ての工夫
- ・周りと協調しながら学習に取り組む姿と学級づくりの推進
- ・児童生徒による自己決定、自己解決の場の保障 ・児童生徒の達成感の向上と負担感の軽減

※ 上記の協議内容を踏まえ、次年度の実施計画を立案する。

6 次年度の実施計画（案）

(1) 湯沢南中学校区の課題

自分のよさに気付かない、自分に自信がもてないなど、自分を負のイメージでとらえてしまい、絆づくりができなかったり居場所を見つけることができなかったりして、学習や人間関係の面で不安を抱えている。

(2) 湯沢南中学校区の目標

明確な見通しと確かな振り返りを基にした達成感のある学習や、児童生徒が主体となった認め合いのある活動を通じて、自分のよさに気付く、自信をもち、周囲と協力し合い、互いに楽しく学校生活を営むことができる児童生徒を育成する。

(3) 「魅力ある学校づくり」の主な取組の重点

- ① 小・中共通実践の柱Ⅰー達成感のある学習
 - (i) 「学ぶこと」の意義や大切さの理解を深めるとともに、高度な学習内容でも自力解決できる力が身に付く手立てを工夫する。
 - (ii) 明確な見通しと確かな振り返りを基にした「わかる授業」への授業改善を図る。
 - (iii) 自分の考えを表現したり、他の意見を聞いたりすることで考えを深めることができる児童生徒を目指し、「話し合い」や「学び合い」の充実を図る。
- ② 小・中共通実践の柱Ⅱー認め合いのある活動
 - (i) 常時活動の中に「児童生徒がほめ合う」「児童生徒が認め合う」「教師がほめる」などの場面を意図的につくり、自己有用感や自尊感情の醸成を図る。特に、学年・学級づくりを核とする。